



2020年1月6日

蝶理株式会社  
代表取締役社長 先濱 一夫

## 2020年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

2020年は、東京オリンピックの年です。ラグビーワールドカップ同様、4年に1度ではない、一生に一度のイベントです。今年が日本にとって、当社にとって明るく良い年になるよう期待しています。

私が社長に就任してから5年が経過しました。この間、成功も失敗もありましたが、変革を重ねてきました。これまでの経験を踏まえ、5年を1つの節目として、また新たな気持ちで更なる変革に挑戦することを新年の誓いとししました。

さて、中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」も残すところあと3ヶ月となりました。この3年間を振り返りますと、トランプ大統領が誕生し、世界の政治や経済の様相が大きく変化してきました。17年度から18年度上期までは好景気が続き、18年度下期以降は保護主義の台頭、米中貿易摩擦の長期化などで世界の貿易全体が縮小傾向となり、景気は下降局面にあります。このように決して良いと言えない経済環境下、私たちは中期経営計画を1年前倒しで達成し、最高益の更新を続けることができています。また、計数面だけでなく、コンプライアンスの面におきましても、法令違反ゼロを継続できております。これは、中期経営計画の方針、基本戦略に沿って私たち全員が積み上げてきた努力の成果であり、それを支えている皆さんの力を誇りに思います。

新中期経営計画では、「新たなステージ」経常利益100億円台が常態化する会社を目指します。そのためには、事業はもちろんのこと、事業の支えとなる組織やシステムなどの仕組み、業務の進め方、働き方も変革し続けなければなりません。また、デジタル化に一層注力し、従来の常識にとらわれないシステムへの刷新も予定しています。オフィス環境の改善や業務効率化など、社員が提案した課題に全社で取り組む「CHOI活」やハラスメント防止の取り組みも継続し、健康とコンプライアンスを土台とした働きやすい環境・風土を醸成していきます。

当社は、「こういう会社でありたい」「こういう会社になりたい」という目標を語り、それ

を実現できる会社に変わりつつあります。それは、私たちの力で成しえたことであり、「ここまで変わることができた」という自信、「ここから更に成長していくのだ」という強い意志を持つことが重要です。東京オリンピックの記念すべき年に「新たなステージ」で輝くことが必ずできると信じています。

最後になりましたが、皆さんの健康が最も大切です。今年1年、健康に気をつけて、元気に明るく頑張っていきましょう。

以上